



平成29年3月21日
京都市立山階南小学校
校長 深尾 則子
<学校評価特別号>

学校教育目標

自ら考え行動し 豊かに学び合う子の育成

目指す学校像

笑顔いっぱい 力を合わせる学校 ~心も体も健康第一~

保護者のみなさまにおかれましては、益々ご健勝のことと思います。平素は本校教育をご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、1月にご協力いただきました平成28年度 後期学校評価アンケートの集計ができました。また、同時期に児童には、よりよい学校にするためのアンケート、教職員には自己評価とそれぞれの立場で振り返るためのアンケートを実施しました。これらの結果をお知らせします。

<学校評価アンケートの集計結果について>

めあてに向かって 進んで学習する子（確かな学力）

「先生の授業は分かりやすいですか」は、児童が93.5%（「Aよくあてはまる」と「Bあてはまる」を合わせた値、以下同じ）、保護者が94.2%の回答で、前期よりA・B評価が増えています。今後も教職員が日々の学習を工夫して取り組んでいくことで、子ども達の理解が深まり、学習に対する意欲がさらに高まっていくと考えます。

「必ず宿題（自主勉強）をしていますか」では、保護者の「Aよくあてはまる」の割合が大幅に増えています。子ども達に家庭学習をするように積極的に声をかけてくださることで、必ず宿題（自主勉強）をする児童の割合は、前期に引き続き80%を越えることができたと思われます。

しかし、「C・D評価（「Cどちらともいえない」と「Dあてはまらない」を合わせた値、以下同じ）と回答している児童の割合も前期と大きな変化はありませんでした。今後教職員は、児童の実態に合った宿題の開発を進め、宿題を確実に提出できる環境を整え、保護者と連携を図っていくことで家庭学習の習慣が定着していくと考えます。

⑦必ず宿題（自主勉強）をしていますか。

■ Aよくあてはまる ■ Bあてはまる

■ Cどちらともいえない ■ Dあてはまらない

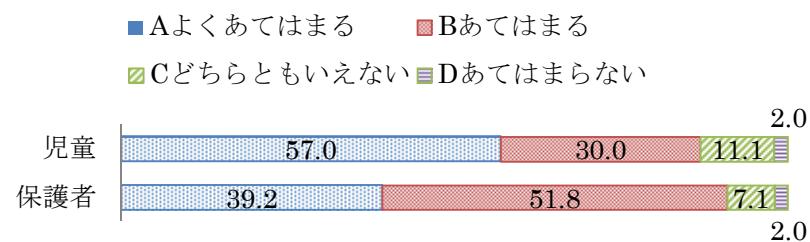


すべての児童が勉強を楽しいと感じ、学習に対する意識が高まってくるように、「達成感を感じることができる授業」「児童が活躍できる授業」をめざし教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思います。

よさを認め なかよく共にのびる子（豊かな人間性）

「先生に大切にしてもらっていますか」では、児童の 87%，保護者が 91%，「子どもは活躍できる場や認められる場がある」では、保護者の 88.8%が A・B 評価と回答しています。また、「友達を大切にしていますか」では、児童の 97.5%，「みんなと仲良く協力していますか」では、91.3%が A・B 評価と回答しています。他の良さを認め、共にのびていくためには、まず自分が大切にされているということを実感し、認められる経験をたくさんすることが大切です。家庭と学校が協力して子ども達の自己肯定感を育む場面をたくさん作り、共に高め合える人間関係を育んでいきたいと思います。

③先生に大切にしてもらっていますか。



「困った時は先生に何でも相談できますか」では、児童の 73.4%が A・B 評価と回答しており前期に比べ少し増えました。しかし、26.6%の児童が C・D 評価と回答している現実を厳しく受け止める必要があると思います。子ども達が問題と直面した時にその壁を乗り越えてさらに学校生活が充実し、豊かな人間性を育んでいけるように子ども一人ひとりを大切にした丁寧な対応、学級づくりを目指していきたいと思います。

「進んであいさつをし、丁寧な言葉づかいをする」という児童が 8 割を超えており、94.7%もの保護者が「あいさつと言葉づかいに注意をはらっている」と回答しています。良い言葉遣いで会話することでトラブルも減り、よりよい人間関係を築いていくことができると思います。今後も意識して取り組んでいきたいと思います。

「読書に親しむ教育環境づくりをしている」では、前期に比べ教職員の A・B 評価が大きく減少しました。それに比例して「家庭でも読書をしていますか」では、A・B 評価の児童が減り、56.3%という結果となっています。文章を読むことによって「読解力」が身につくだけでなく、たくさんの「言葉」にふれることで「語彙力」が増え自分の思いや考えを適切に伝える力も身についていきます。また、本の中の色々な登場人物の出来事や感情を疑似体験することができます。そうすることで、感受性が豊かになり、人の気持ちを考えることができます子どもに育ってきます。この結果を重く受け止め、より一層子どもたちが読書をしたいと思える環境づくりに力を注いでいきたいと思います。

安全に気を付け 心身をきたえる子（健やかな体）

「地域での遊びの時、安全に気をつけていますか」では、児童は93.1%、「安全（交通・防犯）について話をしている」では、保護者が95.7%、「放課後の遊びや防犯・交通安全について指導している」では、教職員が96.7%と高い割合でA・B評価と回答しています。このことからも三者とも安全について高い意識をもっていることがわかります。しかし、ちょっとした気の緩みが大きな事故に繋がったり、不審者情報が寄せられたりすることもあります。この結果に安心することなく、日々高い意識で実践していくことが大切と考えます。

学校・保護者・地域との連携

「学年・学級の様子が分かるたよりを工夫している」では、教職員のA・B評価が大幅に増えました。また、「学校・学年だよりなどから子どもや学校生活の様子が分かる」では、保護者の90%がA・B評価と回答しています。学校ホームページの積極的な更新やPTAのメール配信、おたよりの工夫などにより、高い評価を得ることができたと考えます。今後もより一層、子ども達の様子が伝わり、安心していただけるように丁寧に情報を発信していきたいと思います。

「地域主催の学校での取組に参加したいですか」では、児童が70.2%、「PTAや地域行事に進んで参加するように呼びかけている」では、保護者が59.4%、「PTAや地域行事に参加するなど、連携を大切にしている」では、教職員が77.4%という低い割合でA・B評価と回答しています。保護者と教職員が、PTAや地域行事を大切し、積極的に参加することで、自分たちを見守ってくださるたくさんの方たちの存在を知り、学校を愛し、生まれ育った地域を大切にする子どもに育てていきたいと思います。

< 学校運営協議会より >

- ・児童の評価は相対的に上がっている。A・B評価、C・D評価のそれぞれを合わせた数がどうなっているかを見ると、全体の傾向が分かりやすいと思う。
- ・後期は、職員室前に「アンケート回収BOX」を設置した。来年度も、担任に提出するかBOXに入れるかを保護者が選べるようにし、参観日に設置するなどして、アンケートを出しやすい環境を設定するのもよい。
- ・地域行事への参加は、10年間の変化をみると少しづつ上がっている。教職員の積極的な参加も増えてきている。来年度は、学校をきれいにする活動に子どもたちの参加を呼び掛け、ボランティアとして地域の役に立つという経験をさせることも考えていきたい。

子どもたちへの教育は、保護者と学校の信頼関係が大切であり、学校は子どもたちの状況や保護者の思いをしっかりと受け止め、教育の充実に努めていきたいと考えています。今後とも家庭・地域と学校が連携を密にし、より具体的な取り組みを進めていくことが大切だと考えています。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願いします。

平成28年度 後期 学校評価アンケート集計

児…児童 保…保護者・地域 教…教職員 (%)

		項目（質問）	A	B	C	D
①	児	学校生活は楽しいですか。	60.8	30.2	6.5	2.5
	保	子どもは楽しく学校生活を送っている。	55.6	40.0	3.8	0.7
	教	楽しい学級・仲間づくりに取組んでいる。	66.7	33.3	0.0	0.0
②	児	先生の授業は分かりやすいですか。	56.7	36.8	5.5	1.0
	保	授業は分かりやすく工夫されている。	36.4	57.8	5.4	0.4
	教	分かりやすい授業を工夫している。	58.6	41.4	0.0	0.0
③	児	先生に大切にしてもらっていますか。	57.0	30.0	11.1	2.0
	保	教職員は一人一人の子どもを大切にしている。	39.2	51.8	7.1	2.0
	教	自己肯定感を育むように指導を工夫している。	58.1	38.7	3.2	0.0
④	児	みんなと仲良く協力していますか。	63.0	28.3	6.9	1.8
	保	学校・学年だよりなどから子どもの学校生活の様子が分かる。	34.7	55.3	8.8	1.1
	教	学年・学級の様子が分かるたよりを工夫している。	29.6	70.4	0.0	0.0
⑤	児	友達を大切にしていますか。	71.5	26.0	1.7	0.8
	保	子どもは活躍できる場や認められる場がある。	31.1	57.7	10.4	0.9
	教	一人一人を大切にする人権教育に取組んでいる。	64.0	36.0	0.0	0.0
⑥	児	困った時は先生に何でも相談できますか。	35.1	38.3	17.0	9.6
	保	教職員は子どもからの相談に親身に対応している。	32.0	55.0	10.6	2.4
	教	子どもと何でも相談できる学級づくりをしている。	56.5	43.5	0.0	0.0
⑦	児	必ず宿題（自主勉強）をしていますか。	59.3	21.2	14.8	4.7
	保	子どもに家庭学習をするように声をかけている。	55.0	38.4	3.9	2.6
	教	家庭学習が身につくように、課題を与えていている。	46.2	50.0	0.0	3.8
⑧	児	家庭でも読書をしていますか。	31.9	24.4	18.2	25.4
	保	家庭でも本を読むように声をかけている。	24.5	45.0	26.3	4.2
	教	読書に親しむ教育環境づくりをしている。	32.4	41.2	23.5	2.9
⑨	児	進んであいさつをし、丁寧な言葉づかいをしている。	39.8	42.6	13.4	4.2
	保	あいさつと言葉づかいに注意をはらっている。	46.9	47.8	4.2	1.1
	教	あいさつや言葉づかいを繰り返し指導している。	60.0	34.3	5.7	0.0
⑩	児	学校であったこと・友達のことを持ち話していますか。	58.1	24.2	10.9	6.8
	保	子どもとのふれあいや対話を心掛けている。	44.6	51.6	3.1	0.7
	教	教育目標と目指す子ども像に向けて教育活動に取組んでいる。	50.0	50.0	0.0	0.0
⑪	児	地域主催の学校での取組に参加したいですか。	39.9	30.3	17.4	12.4
	保	P T Aや地域行事に進んで参加するように呼びかけている。	17.8	41.6	29.6	10.9
	教	P T Aや地域行事に参加するなど、連携を大切にしている。	38.7	38.7	22.6	0.0
⑫	児	地域での遊びの時、安全に気をつけていますか。	71.5	21.6	4.8	2.2
	保	安全（交通・防犯）について話をしている。	56.0	39.7	4.1	0.2
	教	放課後の遊びや防犯・交通安全について指導している。	56.7	40.0	3.3	0.0

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう！

